



02



01



04



03



06



05

01. 現在は、強度のある黒檀を使って作られることが多いという木製フレーム。「ゆくゆくは日本の間伐材を使ったもので作りたい」とご主人の佐藤さんは語ります。02.“幸運を呼ぶ”といわれるヤギひげを持つブルーくん。03.「あんまり見ないで〜」とすぐに隠れてしまう、シャイなヘナちゃんです。04.05.ブルーくんの特技は、なんと“お手”！ 決定的な瞬間が撮れました。06. 店内のディスプレイも素敵です。

接客係と職人癒し係。 完全分業制の看板ねこ

グラス工房 602

NISHIOGI
メガネ屋のねこ
NEKO at
Nishiogi & Kichijyoji



カメラが苦手なヘナちゃん。家族の中の誰よりもご主人の佐藤さんになついているので、抱っこしてもらおうと、ちょっぴり安心です。

data

グラス工房602
東京都杉並区西荻北 3-17-8
Tel:03-5382-1062
営業時間: 月・火・木~土曜 10:00~20:00、
水・日曜・祝日 10:00~19:30
定休日: 第1・第3水曜
<http://glasskoubou-hachirokumaru.com/>



一般的に眼鏡には向かないとされる木製のフレームを、特別な技法を使ってオーダーメイドで手掛けるのが『グラス工房602(ロージー)』です。
ユニークな眼鏡もさることながら、この店が話題となっている理由は看板ねこにありました。店内に入るとさっそく、レジの置かれたソファの上で、ぐっすり寝るねこを発見。あこのヤギひげがチャームポイントのブルーくん(9歳)です。
「もう1匹はどこへ行ったかな...?」
ご主人の佐藤さんが、地下にある工房に特別に招き入れてくれました。そして隅から連れ出されてくれたのがヘナちゃん(2歳)です。
ブルーは物怖じしないので、お客様に撫でられるのも平気。反対にヘナは人見知りでも、もっぱら工房にいます。しかも、父には特別になつていて、仕事中的父にいつもちょっぴり出しては甘えているんです。
店を手伝う長女の飛鳥さんがそう教えてくれました。お客様をしっかりとてなすブルーくんと、仕事に疲れた職人を和ませるヘナちゃん。2匹はそれぞれの性格に応じた役割で、しっかりと店を盛り立てていました。